

オオエゾデングダ ウラボシ科

Polypodium vulgare L.

鳥取県：絶滅危惧 類 (CR+EN)

環境省：絶滅危惧 B類 (EN)

選定理由 生育環境悪化，採取圧，局限・孤立，遺存性，希少性。

生態・形態 山地林内の樹幹や岩上に生育する常緑性シダ植物。県内では日当たりのよい旧海食崖面にトウテイランとともに生育，近年減少傾向。遺存植物。根茎は横走，鱗片密生。葉は卵状長楕円形，羽状深裂，5～15対，ねじれがあり，乾いた草質。葉柄はわら色，無毛。孢子嚢は円形。オシャグジデングダに似るが，葉は無毛，乾燥時でも羽片が巻き込まず，羽片数が少なく，葉形もやや異なる。

分布 北海道，本州北部，隠岐島。

(県内) 羽合町。

保護上の留意点 厳重な採取防止。他の草本類繁茂防止等の保全管理。

